

中国、国内消費拡大へ軸足移す

ポストコロナの世界はグローバル化が退潮するとの見方が強まっている。中国のグローバル化構想である「一带一路」も見直しを余儀なくされそうな気配が漂っている。中国国産の第3世代原子炉を採用するカラチ原子力発電プロジェクトの実施など、これまで「一带一路」のショーケースの役割を果たしてきたパキスタンでは、石炭火力発電所の建設に関して中国企業の不正を暴く報告書が公表されるなど雲行きが怪しくなってきた。

そうしたなか、国家発展改革委員会など23部門は今年2月28日、各省や自治区等の関係機関に対して、「消費規模の拡大と品質の引き上げを促進し強大な国内市場の構築を加速する実施意見」を發布し国内消費の拡大を図る方針を打ち出した。実施意見ではコロナ禍に言及した部分はないが、ポストコロナも見据え、国内市場に軸足を移そうとする中国政府の姿勢が鮮明になった。¹

同実施意見は大きな5本の柱で構成されている。まず、国内市場供給の適性を強力にはかる。具体的には、国産商品・サービスの競争力を全面的に引き上げ、品質向上活動を積極的に推進し、企業が品質管理を全面的に強化するよう指導する。サービス業の標準体系をできるだけ早く完備し、養老や家政、育児教育、文化・観光、体育、健康等の分野におけるサービス標準の制定・改定ならびに実験プロジェクトの実証を進める。消費財分野では、高いレベルの品質認証を積極的に進める。このほか、自主ブランドの構築強化や輸入商品の供給の改善、免税業政策の一層の整備をあげた。

次に、文化・観光・レジャー消費の品質向上・アップグレードを重点的に推進する。その一環として、①特色ある文化・観光製品を豊富にする、②インバウンド観光とショッピング環境を改善する、③文化観光の宣伝・普及モデルのイノベーションをはかる——などとしている。

3本目の大きな柱となっているのが、都市と農村が融合した消費ネットワークの構築。この中で、消費物流インフラの建設を強化するとしており、具体的には、電子商取引の物流ポイントと鉄道、道路、水運、航空輸送ネットワークの一体的な配置ならびに融合発展を推進し、複数の総合物流センターを建設する。

¹ 「关于促进消费扩容提质加快形成强大国内市场的实施意见」
(https://www.ndrc.gov.cn/xxgk/zcfb/tz/202003/t20200313_1223046.html)

4本目の柱は、インテリジェント+消費生態システムの構築。具体的には、次世代情報インフラ建設の加速が盛り込まれ、5G ネットワーク等の情報インフラの建設ならびに商業利用のテンポを早める。また、オンラインとオフラインの統合等の新しい消費モデルの発展を奨励する。その一環として、「スマートストア」、「スマートブロック」、「スマートビジネス地区」の建設を奨励し、オンラインとオフラインの相互作用やビジネス・観光・文化・体育の協同を促進する。グリーンなインテリジェント製品の使用も奨励するとした。さらに、インターネット+社会サービス消費モデルを大々的に発展させる方向性を示した。

住民の消費力を持続的に引き上げる内容も盛りこんだ。それによると、主要な社会集団の増収を促進し消費ポテンシャルを刺激、誘引する。具体的には、職業教育制度体系をさらに改革、整備し、職業技能訓練を大規模に展開し、技術系労働者の技能水準を引き上げる。金融資産による住民の収入を安定化するとともに増加させる。

最後に、安心できる消費環境を全面的に創出するとした。そのため、市場秩序の監督・管理を強化する。不正競争防止法を強化し、公平な競争市場環境を維持する。消費分野の信用体系の構築を積極的に推進する考えも明らかにした。

国家発展改革委員会政策研究室は、世界銀行融資による「中国経済改革促進と能力強化プロジェクト」(TCC6)のサブプロジェクトである「中国の国内市場ポテンシャルをさらに育成、刺激する研究」を実施している。このサブプロジェクトは、現在の中国の国内市場の発展レベルと潜在的な発展空間を厳密に分析することを目的としているが、同政策研究室は7月2日、市場ポテンシャルに関する政策研究²と市場ポテンシャル研究³の2件の委託調査を実施する公募案内をウェブサイトに公表した。市場ポテンシャル政策研究は2021年3月末日までに、市場ポテンシャル研究は4月末日までに最終報告書を提出することを要求している。同公告では、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延するなかでグローバル経済が深刻な衰退リスクに直面していると分析。国際貿易や投資が大幅に委縮しており、国際的な取引も制限を受けているため、外需に依存して発展するというスキームは不確実で不安定な状況にあることから、中国としても完備された内需体系の構築を急ぎ、国内の市場ポテンシャルを育成、刺激し経済の高い品質の発展を進める必要があるとしている。

グローバリズムは平時を前提とした考えであり、新型コロナウイルスのパンデミックという状況の中で、中国にとってもグローバリゼーションは既定路線ではなくなった。

(窪田 秀雄)

² 「“进一步培育和激发中国国内市场潜力的政策研究”——关于进一步培育和激发中国国内市场潜力研究子项目征询意向公告」(https://www.ndrc.gov.cn/xwdt/tzgg/202007/t20200702_1232952.html)

³ 「“进一步培育和激发中国国内市场潜力研究”——关于进一步培育和激发中国国内市场潜力研究子项目征询意向公告」(https://www.ndrc.gov.cn/xwdt/tzgg/202007/t20200702_1232951.html)